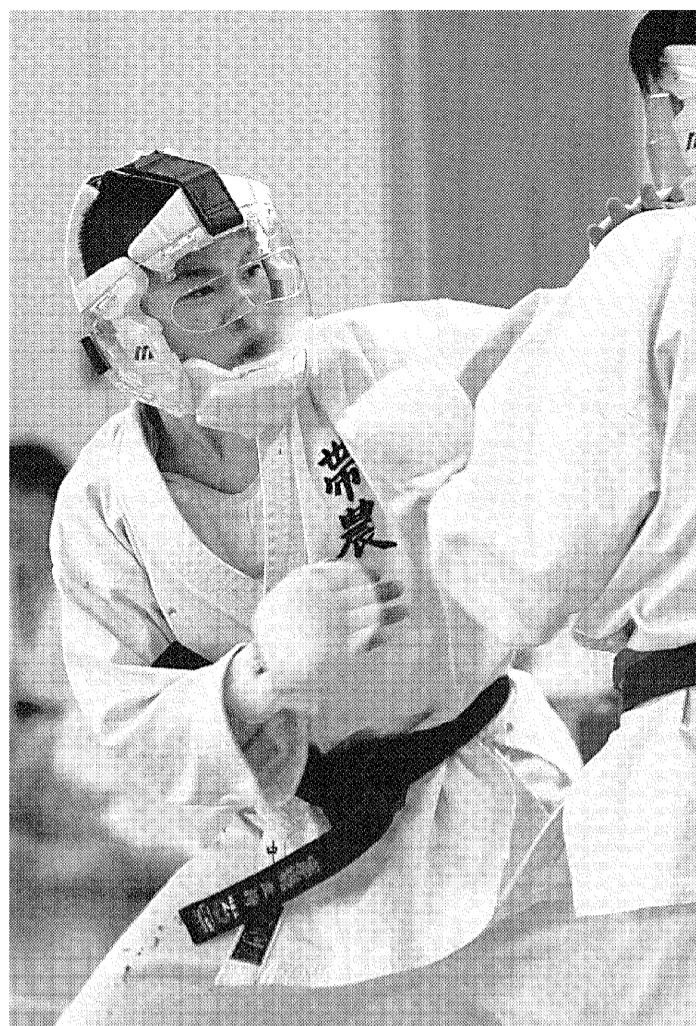


道高校春季十勝空手道

中村(3年)3種目制覇

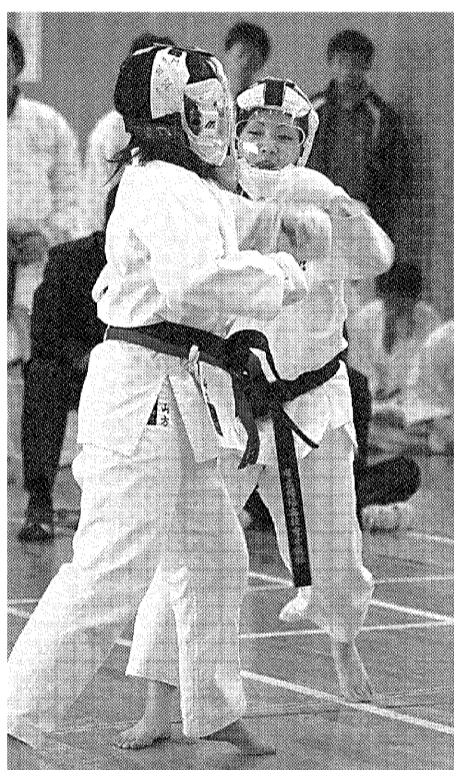
女子 黒宮(3年)は2種目

空手の第19回道高校十勝支部春季大会(十勝地区空手道連盟主催、道高体連十勝支部共催)が11日、帯広高体育館で行われた。男子は帯広の中村友也(3年)が個人形、組手、団体組手と3種目でベスト3冠を獲得。女子個人組手は帯広の黒宮静子(3年)が山形智美(同)に2-0で勝利し、初優勝を飾った。黒宮は団体組手も取り、2冠、個人形は多田怜代(帯広陽3年)がたまたま24点を叩き出して初優勝した。(大野篤志)



【男子団体組手決勝】2対2の同点から大将決戦へと持ち込まれ、黒宮Aの中村友也(左、3年)は積極的に攻撃を仕掛ける。

【女子個人組手決勝】タイミング良く上段突きを打ち込み、ポイントを挙げた黒宮静子(右、帯広陽3年)



【女子個人形決勝】多田怜代(帯広陽3年)は落ち着いた演技で初優勝をつかんだ

中村

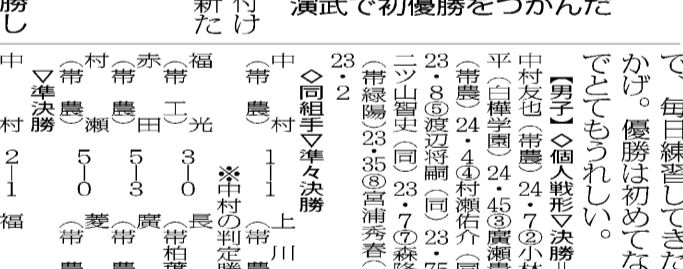
帯工の団体組手決勝は、副将の二ツ山智史の奮闘で2対2と踏みどどまり、優勝の行方は大将戦に委ねられた。中村友也は本来のスピードと切れのある動きが見られず、逆に相手の尾藤優次が動いてかき回し、なかなか有効打を放つことができない。何とか上段突きで先行したが、次が続き、単発な攻めになる。互いに激突する中から尾藤への警告で中村に1ポイントが加えられ、2-0での勝利。チームに優勝をもたらすとともに中村は個人での形、組手と合わせて3冠を達成した。

気迫で勝利つかむ

練習はしないままぶっつけ本番での試合。腹にタオを巻くまでは「不安も重なり、中村の小気味よい動きを封じ込めていた。」「けがとか練習不足は自分が未熟だから」と自分を奮い立たせ、個人組手では初戦から決勝まで一歩も引かずに勝ち上がり、決勝では「モーションが読みにくく、体重移動もうまくい」と苦手なタイプとする村瀬佑介(2年)にも「絶対に勝つ」という気迫を込め、先手先手でポイント2奪取した。



男子団体組手優勝の帯広A



女子団体組手優勝の帯広B

陸上春季サーキット 第2戦 中学の部

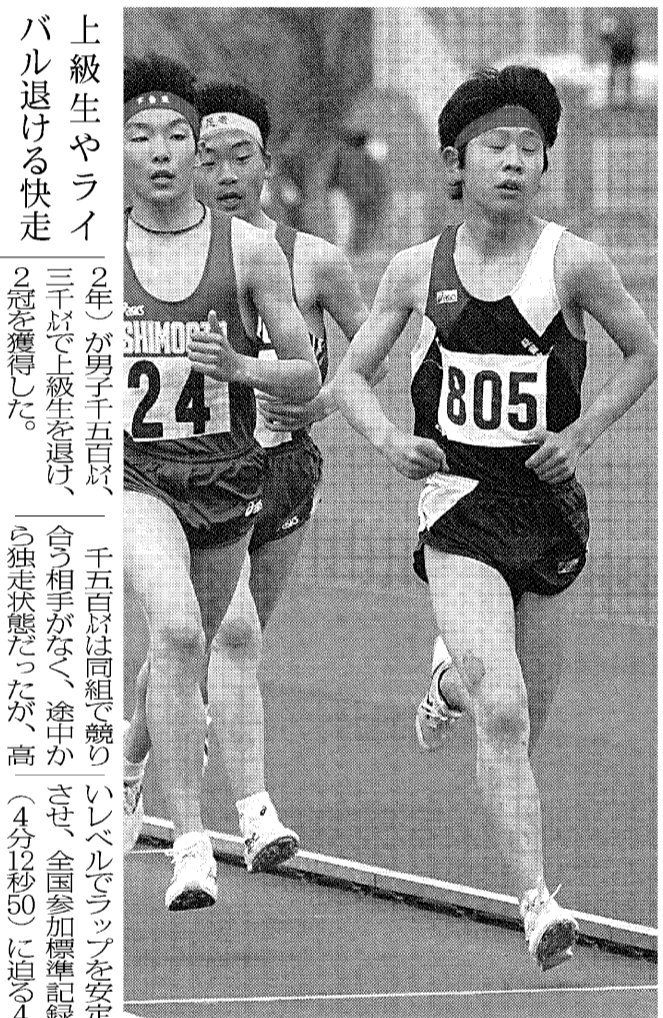
福島(3年)2冠

男子三千 木村(2年)自己新連発

陸上競技の春季サーキット大会第2戦(十勝陸上競技協会主催、最終日は11日、帯広の森陸上競技場で中学の各種目を行った。福島千里(隼3年)は女子三千百メートルで25秒80をマークし、二種目で全国大会参加標準記録を叩き出した。木村隼人(下音更2年)は男子三千百メートルで4分16秒55、三千百メートルで9分18秒22の好タイムをマークし、上級生を退け、佐藤彰彦(駒場2年)は三種競技Bで2分52.1点をマークし、同標準記録2分50.0を肉薄した。2位以下の記録は後日掲載(丸山一樹)



【女子二百】向かい風・9秒をはねのけ25秒80の好タイムをマークする福島千里(隼3年)



上級生やライバル退ける快走

○木村隼人(下音更)

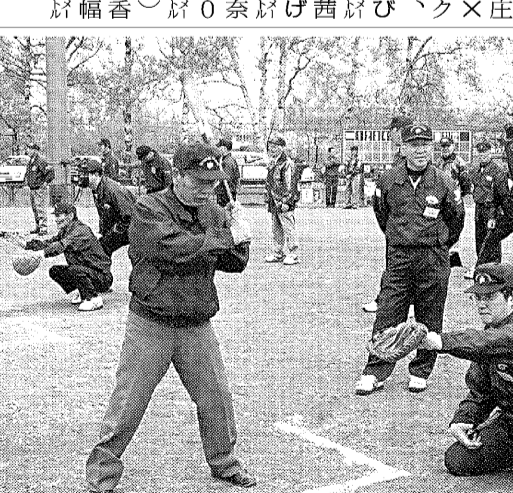
悪条件はねのけ好タイム

女子二百は向かい風1.4秒、二百では同1.9秒を受けた福島千里(隼3年)だったが、逆境をはねのけ、同種目好タイムをマークした。自らが2分52.1秒、福島も確かな手応えを感じた。ゴール後、記録簿を手にした瞬間は「やりました。うれし」と声を弾ませた。その言葉通り、この日の記録は、昨季の日本中学ランキング18位、また向かい風と、気温18度という寒さの中でのレースだった。福島を指導する十勝陸上クラブの久朗津孝之代表も「最高の条件がそろった。5秒30-40が出るかもしれない」と驚き隠さな

全国目標に力強く

い。アジア大会日本代表の木田真有(福島大3年、帯広南高)が、帯広南高3年のときに樹立した25秒27の十勝中学記録の更新も射程内に入った。今季は全国中学校大会が北海道で開催される。指定された大会で同標準記録を破っていないため代表権は獲得していないが、確実すれば、道女子短距離選手団の核となる存在だ。

【男子三千】木村隼人(下音更2年、左端)は9分18秒22の好タイムをマーク。ライバル松浦光(帯広陽3年、右端)に初めて直接対決で勝利した。分16秒55をマーク。三千百メートル安定したペースで走り、ついにライバル松浦光(帯広陽3年)を初めて破った。【男子二千】木村隼人(下音更2年、左端)は9分18秒22の好タイムをマーク。ライバル松浦光(帯広陽3年、右端)に初めて直接対決で勝利した。分16秒55をマーク。三千百メートル安定したペースで走り、ついにライバル松浦光(帯広陽3年)を初めて破った。



道軟式野球連盟審判講習会

【男子三千】木村隼人(下音更2年、左端)は9分18秒22の好タイムをマーク。ライバル松浦光(帯広陽3年、右端)に初めて直接対決で勝利した。分16秒55をマーク。三千百メートル安定したペースで走り、ついにライバル松浦光(帯広陽3年)を初めて破った。【男子二千】木村隼人(下音更2年、左端)は9分18秒22の好タイムをマーク。ライバル松浦光(帯広陽3年、右端)に初めて直接対決で勝利した。分16秒55をマーク。三千百メートル安定したペースで走り、ついにライバル松浦光(帯広陽3年)を初めて破った。

【男子三千】木村隼人(下音更2年、左端)は9分18秒22の好タイムをマーク。ライバル松浦光(帯広陽3年、右端)に初めて直接対決で勝利した。分16秒55をマーク。三千百メートル安定したペースで走り、ついにライバル松浦光(帯広陽3年)を初めて破った。【男子二千】木村隼人(下音更2年、左端)は9分18秒22の好タイムをマーク。ライバル松浦光(帯広陽3年、右端)に初めて直接対決で勝利した。分16秒55をマーク。三千百メートル安定したペースで走り、ついにライバル松浦光(帯広陽3年)を初めて破った。

【男子三千】木村隼人(下音更2年、左端)は9分18秒22の好タイムをマーク。ライバル松浦光(帯広陽3年、右端)に初めて直接対決で勝利した。分16秒55をマーク。三千百メートル安定したペースで走り、ついにライバル松浦光(帯広陽3年)を初めて破った。【男子二千】木村隼人(下音更2年、左端)は9分18秒22の好タイムをマーク。ライバル松浦光(帯広陽3年、右端)に初めて直接対決で勝利した。分16秒55をマーク。三千百メートル安定したペースで走り、ついにライバル松浦光(帯広陽3年)を初めて破った。

正確なジャッジ 習得へ真剣に

道軟式野球連盟審判講習会

道軟式野球連盟帯広支部(丸山吉吉支部長)の変更はないが、参加者たちは主審や審判の役割を学ぶ。別公園球場で行われ、伏見シヨウジなどを講師とする。審判員、少年野球の指導者、父兄らがシスと動作を繰り返して、ジャッジを練習する。丸山支部長は「楽しい野球、納めたい。市内、町村の審判員約100人と帯広市少年軟式野球連盟(小野祐市指導)の監督、コーチら指導者、父兄100人が参加。今年度はルールやシ

全十勝高校ソフトテニス

男子 村上・廣江組(帯農)

女子 関・中島組(帯柏葉)

ソフトテニスの全十勝高校選手権大会(帯広)が11日、帯広市立総合体育館で行われた。男子決勝は村上・廣江組(帯農)が、女子決勝は関・中島組(帯柏葉)がそれぞれ優勝した。村上・廣江組は、準決勝で帯広の山本組を4-0で破り、決勝で帯広の山本組を4-0で破り、優勝した。関・中島組は、準決勝で帯広の山本組を4-0で破り、決勝で帯広の山本組を4-0で破り、優勝した。

Table with tennis results for various matches, including scores and player names.

Table with horse racing results, including race numbers, horse names, and odds.